

ジャカルタ・ ボロブドールの旅

野口健児 (Im昭29)

本年の外語会文化委員会主催の海外ツアーは5月以降の現地政治経済事情の混乱もありその実行が心配されていましたが、現地報告に基づき総合的に検討の結果、問題なしとして予定通り10月5日～9日の日程で行われました。メンバーは大阪外語咲耶会磯田東京支部長を含み男女それぞれ9名の計18名のツアーです。一行は5日現地時間16:05スカルノ・ハッタ空港着。当夜は6時半より宿泊場所であるHilton Hotelにてジャカルタ支部との交歓会が催された。角井支部長は出張中で不在であったが現地側参加者は18名、この中には大阪外語のOB8名やはるばるマレーシアから空路駆付けてくれた小林浩樹氏の参加もあり盛会であった。現地のあらゆる分野で活躍されておられるOB・OGの現状報告を聴き頼もしい限り、また大阪外語OBの5月の暴動事件の生々しい体験談は特に印象深かった。翌6日はジャカルタ市内見学。国立博物館、独立記念塔を廻りコタ（華人街）で昼食。その途中運河の両側には無残にも焼き尽くされた大型スーパーや銀行その他破壊の跡も痛々

○第4回海外ツアー（支部連絡委・ メンバーシップ委と共催）報告

10月5日～9日総勢18名でジャカルタ・ボロブドールの旅に出発。緊迫したインドネシア情勢に鑑みて慎重な計画・実施となりましたが、思い出深い旅の様子は野口健児さん(Im昭29)が寄せて下さっています(17頁)。現地からの情報提供、懇親会の準備等々角井信行会長、黒木幹事、また計画の立ち上げ段階より関康年前幹事(Im昭63)はじめ南友会の皆様に大変お世話になりました。ジャカルタ支部の方々の南国でのご活躍を直接伺え、今回も海外ツアーを無事大成功で終えました。有難うございました。



ジャカルタ外語会との交流会

しい建物が暴動の激しさを物語っていた。最近人気の骨董通りを冷やかして空路次の目的地であるジョグジャカルタに向かう。18:35着。宿泊はNovotel、この地で最新のホテル。10月7日：ポロブドールの遺跡を見学、紀元880年に完成後火山灰に埋もれ1814年に再発見され修復工事を経て陽の目を見たポロブドール寺院。その後風雨による浸蝕で相当に痛んでいたが日本を中心とするユネスコの援助で修復も進み昔ながらの威容を今回見る事ができた。午後は9世紀前半に建てられた巨大なヒンズー教寺院のプランバナンを見学。満月の夜には美しい寺院のシルエットを背景にラーマヤーナ舞踊が繰り広げられるとか。我々は夜レストランシアターでジャワ料理を満喫した後野外舞台で伝統舞踊のラーマヤーナを見学その美しさに魅せられた。10月8日：ジョグジャカルタはインドネシアで二番目に古い歴史のある都であり、そのスルタン王家の王宮を見学。次いで王様とその家族の遊び場という『水の宮殿』跡を見る。午後はジャワ更紗（Batik）工場を見学、直売もあるのでメンバーは買物を楽しんだ。旅も終わりに近づき最後にジャワの象徴であるワヤンクリットと呼ばれる皮人形を操って行われる影絵芝居の実演を見学してインドネシア情緒にひたるひとときを過ごしホテルに戻る。空港に行く前の寸暇を利用しメンバーの数人はベチャ（輪タク）に二人ずつ分乗し古都の風を楽しんだ。名残惜しいジョグジャを離れ空路ジャカルタへ。空港内

で時間を過ごした後23:30、JL-726に乗り換え帰国の途につく。機中泊。10月9日 08:35：成田着。全員元気で帰国。解散。